

スポーツ大会結果

第17回大宮支部バレーボール大会

開催日：8月8日

主催：市バレーボール連盟大宮支部(小林道治支部長)

於：西部総合公園体育館

参加チーム：10チーム

第1部 優勝 紫陽花

準優勝 JBCクラブ

第2部 優勝 大賀ディアーズ

準優勝 ウィングス



第11回ママさんバレーボール大会

開催日：7月19日

主催：市バレーボール連盟(中村稔会長)

於：西部総合公園体育館

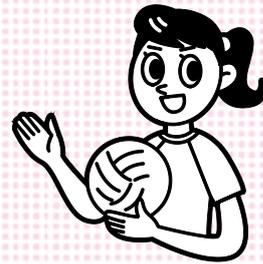
参加チーム：15チーム

Aブロック1位 グルービー

Bブロック1位 盛和球友クラブ

Cブロック1位 SFC

Dブロック1位 下郷ママさん



地域と祭礼 —盛金の素鷲神社神幸祭によせて—

4年に一度の鷲子の祇園(鷲子山上神社夏例大祭)が賑やかに行われた7月18日、盛金地区の岡平、宿一・二、平山集落でも、神輿が地区内を巡行する3年に一度の素鷲神社の神幸祭(天王様)が実施され、元気な子ども達の声が響きました。

「天王様」は祇園祭の通称です。「祇園祭」は平安時代に始まった京都八坂神社の祭礼で、代表的な夏祭りとして全国に広がりました。祭神の牛頭天王が祇園精舎の守護神であることから、明治時代の神仏分離後に現在の社名となるまで、八坂神社は祇園社感神院、祇園牛頭天王社などと称していた、その祭礼も「祇園」と呼ばれました。牛頭天王は別名を武塔天神といい疫病をもたらす神として恐れられ、日本では気性の激しい須佐雄能神と習合しました。スサノオが詠んだ歌(八雲立つ 出雲八重垣妻籠に..)や、発した言葉(わが心すがすがし)から、八雲神社・須賀神社・素鷲神社、また、単に天王社など、祇園を行う神社の名称にはいろいろあります。梅雨明け前後で温・湿度とも最も高く疫病の発生しやすいこの時期に、疫神を祭ることで、疫病から逃れようとしたのが祇園祭です。

祇園祭といえば華やかな山車や屋台に目が奪われますが、主役は御神体を乗せた神輿であり、神輿が地区内を巡ることで私達は疫病に負けないパワーを神様から授かります。当地でも、神輿を“天王様”と呼ぶほど、祇園と神輿は縁が深いのです。

盛金の素鷲神社の神輿も各地区内を巡り、集落内では大人達が「わっしょい、わっしょい」の掛け声で神輿を担ぎ、子ども達も声を合わせて従います。人家のない所では、神輿を車に乗せて紐で引き、各集落の氏子総代の庭先等を祈祷場所として、住民の健康と家内安全を祈願します。

出店などないささやかな祭りですが、梅雨明けしたばかりの太陽の下、流れる汗をものともせず、時折吹く風や木陰に涼を感じながら、生まれ育ったふるさとを踏みしめて歩くのは、子ども達にとってよき思い出となり、大人達にとっても、地域の人々が交流をはかり、地域の連帯感を更に深めるまたとない機会です。お宮入りの後、「乾杯!」とコップを合わせ、一口飲んだ冷たい飲み物の美味さが、地域の結束を強めることとなるでしょう。

歴史民俗資料館

